

留萌地区 教育経営研究会

- | | | | | |
|---|---|---|--|-----------|
| 1 | 目 | 的 | 北海道小学校長会・北海道中学校長会と連携を図り、教育界を取り巻く今日的諸課題について情報・意見交流を行うとともに、研修テーマに基づく学習会を通じて、会員の資質向上に努め、学校経営の充実安定を図る。 | |
| 2 | 主 | 催 | 北海道小学校長会 北海道中学校長会 留萌管内小中学校長会 | |
| 3 | 後 | 援 | 苫前町教育委員会 | |
| 4 | 期 | 日 | 令和7年9月24日（水） | |
| 5 | 会 | 場 | 苫前町コミュニティセンター | |
| 6 | 参 | 加 | 者 | 留萌管内小中学校長 |
| 7 | 日 | 程 | 10:30～10:45 開会式
10:45～12:00 全国・全道情勢報告・質疑応答
13:00～14:20 研修会① 講話
14:20～15:25 研修会② グループ協議
15:25～15:35 閉会式 | |

開 会 式

- | | | | | |
|---|----------|------------|-----|-----------------|
| 1 | 主催者挨拶 | 留萌管内小中学校長会 | 会 長 | 村井 亨（留萌市立東光小学校） |
| 2 | 来賓挨拶 | 苫前町教育委員会 | 教育長 | 開発 法起 様 |
| 3 | 日程説明・諸連絡 | | | |

主催者挨拶として留萌管内小中学校長会 会長 村井 亨より「道の管理職研修に参加し『校長は学校をより良くするためにいる』との言葉に感銘を受け、覚悟・戦略・実行力の重要性を再認識した。ミドルリーダー研修では森万喜子氏の講演を拝聴し、学校の在り方を見直す必要性を痛感。根室での道小大会では天塩小 建山校長の発表が高評価を受け、今後の提言発表にも期待が寄せられた。次期学習指導要領の論点整理が公表される中、校長の覚悟と実行力で学校を前進させたい。」と結ばれた。

全国・全道情勢報告 質疑応答

- ◇運営～司会進行：組織部副部長 佐藤美智子（苫前町立苫前中学校）
記 録：組織部 田谷 典久（留萌市立港南中学校）
熊倉 一弘（留萌市立港北小学校）

【情勢報告】

北海道中学校長会 事務局長 高橋 正幸 氏（札幌市立羊丘中学校）

- ① 北海道小・中学校長会の活動報告
- ② 多様な子どもたちの学びの実現と学校経営の課題

【留萌地区からの質問に対する回答】

北海道小学校長会 情報部副部長 高畑 均 氏（札幌市立百合が原小学校）

北海道中学校長会 対策部副部長 小泉 寧 氏（新十津川町立新十津川中学校）

- ① 学校経営～通級指導教室拡充に関して、特別支援学級定数見直しに関して
- ② 管理運営～複式学級の編成基準の見直しに関して、専科加配に関して、新採用教員の人材育成に関して
- ③ 待遇改善～管理職定年者の役職に関して、役職定年後の処遇について

- ④ 教育改革～管理職、教員の人材不足について
- ⑤ 組織強化～校長会の業務等について工夫改善について

研修会～講話・グループ協議

◇運営～司会進行：組織部副部長 佐藤美智子（苫前町立苫前中学校）

記 録：組織部 酒井 康有（小平町立鬼鹿小学校）

塚田 崇（留萌市立潮静小学校）

【演 題】「銘酒の作り手の思いを大切にした経営戦略」

～「カクイ」モデルから学ぶ持続可能な経営とは～

【講 師】本 間 貴 彦 氏

有限会社リカーショップカクイ代表取締役

【講話の概要】

羽幌町で地酒専門道を 25 年にわたり経営してきた経験をもとに、人口減少の中で売上を 1.8 倍に伸ばした戦略を紹介した。1999 年に創業 100 年以上の老舗酒販店の 4 代目として家業を継いだ当初は、人口 1 万人から 6 千人へ減少する中、10 年間成果が上がらず苦しい時期が続いたが、「地酒専門店」としての方向性を見出し、蔵元から直接仕入れる特約制度を活用することで転機を迎えた。地域内では限界があると悟り、北海道全域から九州・沖縄まで販路を拡大。飲食店への直接営業や試飲会を重ね、信頼を築いていった。また、ベネッセの通信教材を参考にダイレクトマーケティングを導入し、全国の顧客に向けて自作のチラシを発送、継続的な販売につなげた。デザインや写真撮影も独学で習得し、地酒の魅力を伝える工夫を重ねた結果、全国屈指の小規模人口地域にありながら成功を収めた。講演では、「地域の規模ではなく、思いと工夫が経営を支える」と強調した。

【感 想】

- ◆自分自身に課した目標（売り上げ 2 倍）の達成に向け、決して諦めることなく地道な努力を続け、目に見える成果を挙げたその行動力、人間性に心からの敬意を表したいと思います。経営者としての先見性や戦略的な思考など、大変学びの多い講話だったと思います。
- ◆講話は素晴らしかった。物事をつくる、変える、続けるためにはエネルギーと人柄、そして仲間作りが重要な事が再確認できました。

【グループ協議】

「次世代の担い手を育てる学校文化～持続可能な学校づくりにおける人財育成～」をテーマに、各学校の実践を交流し、非常に有益であった。

閉 会 式

1 主催者挨拶 留萌管内小中学校長会 副会長 秋葉 良之（留萌市立留萌小学校）

2 諸連絡

主催者挨拶として留萌管内小中学校長会 副会長 秋葉 良之より「本研究会では、持続可能な学校教育の在り方を中心に、全国や地域の教育課題を共有し、講演からは情熱的な経営戦略に学んだ。講話を通して『運を大切にする姿勢』に感銘を受け、学校経営にも通じると感じた。グループ協議では次世代の担い手を育てる学校文化づくりについて活発な意見交換が行われ、教育の根幹を再確認できた。今後は教職員との対話を深め、持続可能な学校づくりに努めたい。」と締めくくられ、関係者への感謝が述べられた。